

トマトすすかび病に対する効果の高い殺菌剤防除体系

利用対象：トマト・ミニトマト生産者

トマトすすかび病は、感染から発病までの**潜伏期間が長い**ため、初発確認後の殺菌剤散布では、発病を止められません！ また、**生育適温が28℃**のため、残暑を乗り切れば発病は緩慢になります！

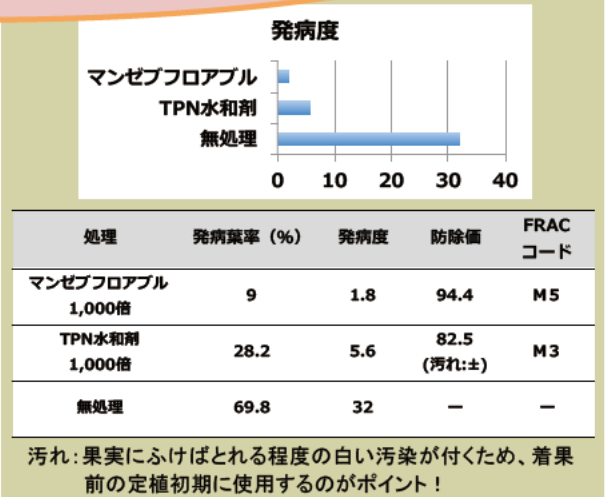
トマトに登録の殺菌剤11剤を用いたすすかび病に対する防除効果の比較では、**TPN 水和剤**および**マンゼブフロアブル**が優れます！

定植直後から10月までが重要防除時期

効果の高い殺菌剤を選択

<うまい散布方法>
ゼロ散布！ 感染する前に予防散布！！
リレー散布！ 残効期間が切れる前に散布！！

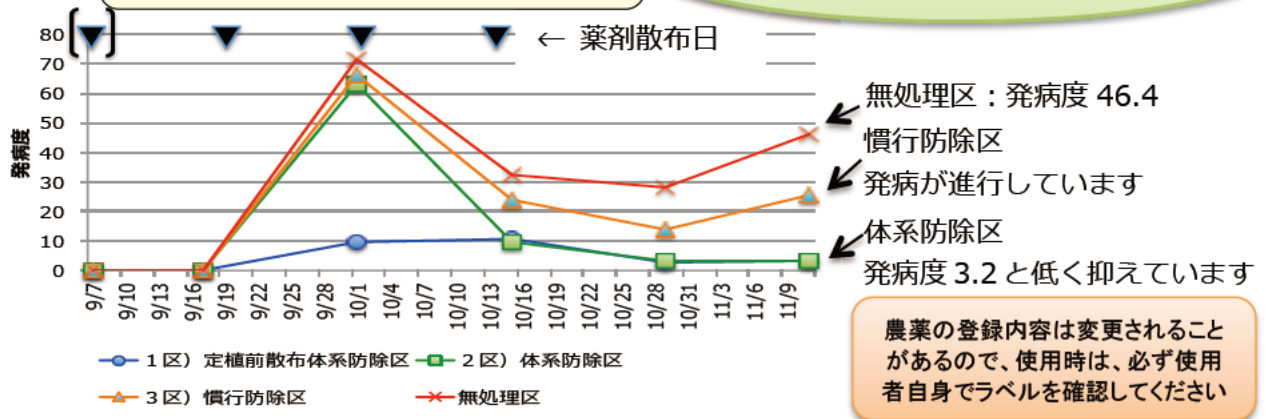
気温	接種後日数			
	11	16	24	28
33℃	病斑形成		胞子形成せず	
30℃	病斑形成	胞子形成		
28℃	胞子形成			
25℃			病斑形成	胞子形成
20℃	病斑形成せず			



体系防除区

- TPN → TPN → マンゼブF → マンゼブF
- TPN → TPN → マンゼブF

効果の高い殺菌剤防除体系



農業の登録内容は変更されることがあるので、使用時は、必ず使用者自身でラベルを確認してください

お問い合わせ先	農産物安全安心研究課 鈴木啓史、黒田克利 電話 0598-42-6360 中央農業改良普及センター 安田幸良、西方陽介 電話 0598-42-6716
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm